

令和5年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	総和地区スポーツ施設	施設所管課	スポーツ振興課		
指定管理者名	古河市地域振興公社・日本スポーツ振興協会グループ	指定期間 (評価実施年)	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日
			(指定期間	5年	のうち 2年目)
施設設置目的	市民の健康づくり、余暇・スポーツ・レクリエーションの場として、また、地域防災計画の災害時の避難場所として幅広い年齢層から利用されている本施設は、市民の憩いの場、家族のふれあい、スポーツを始めるきっかけづくりや競技力の向上を目的とした施設です。				
主な実施事業	施設の維持・管理運営に関すること				

●実績報告

開館・ 開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
346	306,046	85,637	14,662	173,043,259	211,386,942	203,843,710	7,543,232	(R4 補填等含)

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容				
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント	
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	利用料収入増と経費の削減(特に光熱水費の激変緩和措置等)により、大幅に収支の改善を図ることができました。今後も条例・仕様書等の規定を遵守し、公園施設等の運営で得ているノウハウを生かし、利用者サービスの充実等、安定した管理運営を行います。	A	他施設でのノウハウの活用や規定の遵守を継続しながら、財務状況の改善に努めていた。収入を増やすための新たな収益源の開拓やコスト管理の見直しをしつつ、持続的な運営を目指す努力をしていた。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている ・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である	A	利用時間・開館日は協定書を遵守しています。プールの繁忙期は休館日を設けず営業し、各種周知は、市広報誌への掲載・HP・ポスター掲示などで行っています。また、予約システムの導入に適切かつ柔軟に対応しております。	A	管理運営の基本的事項については、基本協定・年度協定及び仕様書を遵守しており、公平性の確保に努め、利用者の意見等を反映した取り組みを行っていた。
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている ・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている	A	お客様からの意見、要望については迅速に対応することを心掛け、施設を気持ちよく利用してもらうことを第一に、警察や関係機関と連携を密にしております。また、利用者アンケートを実施して意見の収集を行い、収集した様々なご意見を参考に運営方法の改善に努めております。苦情については報告書を作成し、対応内容を記録しています。	A	利用者とのコミュニケーションを大切に、アンケートや苦情の収集を定期的実施することで、情報を適切に分析し、改善点を挙げつつ、利用者の満足度向上に向けた取り組みを継続し、施設の質の向上を図っていた。
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である ・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている	A	個人情報保護マニュアル、個人情報に関する内規が策定されており、これらを遵守するよう徹底しております。また、情報公開規程も策定されています。	A	個人情報の取扱いについては適切に管理されており、職員についてもマニュアルを遵守し運用されていた。
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A	利用者の安全確保のために、日常的に点検を行うとともに、専門部分の点検は、各種専門業者に	A	日常的な点検から専門的な法定点検に関して適切に実施されており、利用者が安全に施設を利

3. 管理運営体制		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している 		<p>依頼し、定期点検を行っています。異常が見つかった場合には、立入禁止にするなど迅速に対応するよう努めています。万一の事故等に備え、救命(AED)訓練及び年2回の避難誘導訓練を実施しております。</p>		<p>用できることを優先に施設運営をされていた。 また、消防法等に基づき避難訓練も適切に実施されていた。</p>
	危機管理体制	<p>事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている 	A	<p>「事故・災害等発生時対応マニュアル」「感染症に対する危機対策マニュアル」等が策定されています。緊急時連絡表を事務室内に掲示し、迅速に対応できるよう努めています。避難経路図も施設内に掲示しております。</p>	A	<p>事故・災害等に対応できるようマニュアルが策定されており、利用者の安全確保及び危機管理体制が構築されていた。</p>
	人員体制	<p>管理運営内容と整合した職員体制がとられている</p> <p>必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている</p> <p>人件費の設定は適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している 	A	<p>運営に必要とされる資格(防火管理者、プール衛生管理者、日本赤十字社水上安全法救助員、普通救命講習修了者、公認体育施設管理士等)を所持した人員を適正に配置しています。雇用条件や給与などの規程については必要に応じて修正し、労働基準法等関連法令を遵守するよう努めています。</p>	A	<p>人員体制については、運営に必要な有資格者などを配置し、人材育成のための研修会等を行っており、適正に運営されていた。 また雇用条件や給与規程を見直すことで運営の質と安全性を向上させることにつながっていた。</p>
	人材育成	<p>職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている 	A	<p>代表団体が企画している各種研修「指定管理者制度の理解・管理者の心得」や「交通安全講習」等、6つの研修を受講しました。また、古河市の企画する研修にも参加し、職員の資質向上等に努めました。</p>	A	<p>自主的な研修等6件および当市主催の研修を受けており、職員の資質向上に向けて積極的な人材育成に取り組まれていた。</p>
	施設の維持管理	<p>施設の機能維持、物品管理の方策は適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している 	A	<p>日常及び定期清掃、保守点検を実施し、施設の維持管理に努めております。指定管理者として対応が難しいことについては市に報告し、協議等を行いました。専門的知識を有する職員が簡易修繕を行い、迅速な対応と経費削減に努めました。プールにおいては「プールの安全標準指針」、「遊泳プールの衛生基準」などに基づき、安全衛生管理に取り組んでおります。</p>	A	<p>維持管理については、施設および設備の老朽化等により、安全管理に苦慮していると思われるが、利用者の安全確保を最優先として施設の安全管理に努められていた。また、各種点検および施設の不備箇所についても市への報告が速やかに行われていた。</p>
業務委託	<p>再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である</p> <p>再委託業務の成果確認の方法は適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している 	A	<p>専門性の高い業務等は、事前に市の承認を受けてから再委託を行うとともに、その業務が適正に行われるよう管理監督を行っております。また、再委託する場合、原則として複数業者より見積もりを取るよう努めています。</p>	A	<p>再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切であり、再委託業務の成果確認方法は報告書確認および現場確認により適切に行われていた。</p>	
4. 施設の効果的活用	広報・PR	<p>利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である</p> <p>魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している 	A	<p>自主事業や利用促進の教室などの実施情報をSNSにて行い、魅力を発信しました。また、募集については、公式ホームページ、市広報誌への掲載、ポスターやチラシを作成し、館内での配布を行いました。代表団体の経営改革プランも作成しました。</p>	A	<p>情報発信については、自主事業や利用促進の教室などの実施情報を様々な媒体を利用して効果的なPRに努められていた。</p>
	施設の活用	<p>施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる 	A	<p>利用促進事業実施回数等の見直しを行うとともに、利用者のニーズにあった、ワンコインレッスン自主事業等を開催し、利用者拡大に努めました。温水プールではお子様を対象とした「キッズ・ポイントカード・キャンペーン」を実施しました。</p>	A	<p>様々な自主事業を企画して施設の利用拡大に努められており、利用者数の増加につながっていた。</p>
5. 効率性	経費削減・収支バランス	<p>経費削減のための方策は、無理がなく実現可能なものである</p> <p>設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている 	A	<p>利用料収入は計画及び昨年度と比較し、大幅に改善することができました。修繕費については、約43件の修繕を行い、予算額である230万円を執行しました。経費削減については、サービスが著しく低下しない範囲で節電、節水等を行いました。指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別し、管理を適切に執行しております。</p>	A	<p>修繕、収支計画と結果、指定管理に係る会計管理、経費削減とも適切に運営されていた。</p>

【評価基準】

SS	優良:仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良:仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通:仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分:仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備:仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

<p>指定管理者</p>	<p>1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。</p>	<p>本年度の収支については、昨年度の収支▲7,008,956円(市損失補償8,159,000円あり)から大幅に回復し、7,543,232円の増収となりました。主な要因として、収入では利用料収入が昨年度に対し5,822,437円増の36,506,255円となったこと、昨年度(R4年度)の施設休止に伴う市損失補償の追加が1,043,259円あったこと等があげられます。支出については、電気料激変緩和措置による光熱水費の減、人件費等の経費を削減したことなどがあげられます。そのような中で軽ダンプ車輛や什器備品の購入ができたことは施設管理上、非常に良かったと思います。また、総和地区スポーツ施設全体の施設利用者数や中央運動公園体育館と温水プール及び多目的室等で実施している各種教室、自主事業等の参加者についても増加し、利用料の増に繋げることができました。JV(共同企業体)による互いの強みを生かすことができた結果だと考え、翌年度も継続して努力して参ります。</p> <p>施設の維持管理については、条例・仕様書等の規定を遵守して安全管理を行うことで、安心な利用環境を提供するとともに、お客様が利用しやすい施設運営に努めました。</p> <p>温水プールにおいては、利便性の向上のために、繁忙期である7-8月は利用時間を延長し、夏休み期間は休館日を設けず営業すること等を本年度も継続して行いました。</p> <p>翌年度に関しても本年度同様に、様々な状況に適切に対応し、お客様に安全、安心な施設利用を提供することを最優先にして管理を行います。また、安定した管理運営ができるよう、収支バランスを注視するとともに、様々なアイデアを出しあい、利用料の増収と経費削減に継続して取り組みます。</p> <p>各施設や設備の老朽化は顕著であり、丘里球場の利用停止や温水プール施設の改修、トレーニング室機器の修繕、乗用芝刈り機の新規購入等は、継続した重要課題となりますので、市担当課と連携しながら最善を尽くして行きたいと考えます。</p>
<p>所管課</p>	<p>事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。</p>	<p>収支については、温水プールは繁忙期に利用時間を延長し、自主事業のスポーツ教室を多数企画し、什器備品等の積極的な購入投資、効果的なPR活動、実施内容の充実化等、利用者の利便性および利用促進、事業計画を積極的に推進した指定管理者の継続的な努力が、利用料収入前年度比5,822,437円増という成果として報われた結果となりました。</p> <p>施設の維持管理については、施設および設備の老朽化等により、安全管理に苦慮していると思われるが、利用者の安全確保を最優先として施設の安全管理に努められており、各種点検および施設の不具合箇所についても市への報告が速やかに行われていました。</p> <p>全体的に、市と連携を図りながら最善の策を講じながら運営されています。今後も継続して指定管理ならではの当該施設の利便性向上を期待します。</p>